

東京都立小平特別支援学校に在籍する『さえさん』 小学部2年

1回目の交流(小1／9月)・・・朝礼での挨拶＆特別支援コーディネーターによる
「特別支援学校」と「さえさん」についての紹介

2回目の交流(小1／10月)・・・音楽の授業の見学

3回目の交流(小1／11月)・・・音楽発表会の見学

見学するだけで「交流している」という実感を得にくい状態が続く

お母様が双方の教員へ交流内容の見直しを文書で提案

4回目の交流(小1／1月)・・・先生と生徒と一緒に企画・準備し、ゲーム大会を実施
交流校の校長先生、副校長先生も関心を寄せるようになった

5回目の交流(小2／6月)・・・朝礼での挨拶＆特別支援コーディネーターによる
「特別支援学校」と「さえさん」についての紹介
学校ブログで紹介される

6回目の交流(小2／11月)・・・体育の授業の中で「ボッチャ大会」を開催



副校長先生が、地域校で
重心のお子さんの担任を
していた時の思い出を
話してくださりました

2. インクルーシブ教育の現状

東京都の副籍制度を活用した交流事例

東京都立小平特別支援学校に在籍する『さえさん』 小学部2年

【初めての交流の時間で自己紹介をする「さえさん」】

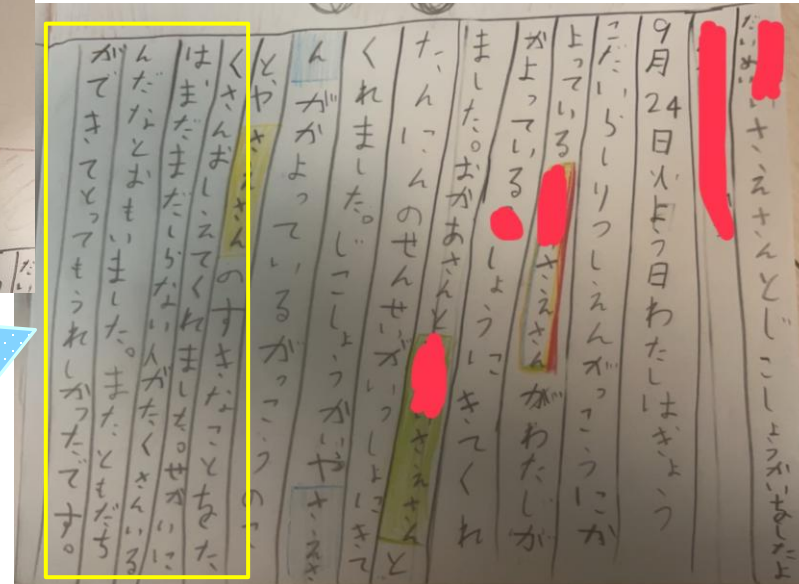


【交流校の児童が描いた絵日記】



せかいには、まだまだ
知らない人がたくさんいるんだな
とおもいました。

またともだちができて
とってもうれしかったです。



2. インクルーシブ教育の現状

東京都の副籍制度を活用した交流事例

東京都立小平特別支援学校に在籍する『さえさん』 小学部2年

交流クラスの児童が障害のある「さえさん」と一緒に楽しめる活動を一生懸命考え、2年生2学期の交流活動(6回目)では体育の授業の中で「ボッチャ大会」を開催

【先生からの「ボッチャ」について説明】



【ボッチャ大会の様子】



子供たちが
「車椅子を押
したい！」と
奪い合いに！
さえさんも嬉
しそう



「自分の普通は友達にとっての普通じゃない」

「言葉がなくても、気持ちを伝えることができる」とわかった。相手の表情をよく見て話そうと思ったと言われた娘の行く先には優しい社会がひろがると信じて、この先も一緒に生きていくための種まきを共に楽しんでいきたい

お母様より



全国肢体不自由特別支援学校PTA連合会